

補聴器販売の最前線とワイデックスを結ぶ

ワイデックス HYGGE-ヒュッゲ- 通信

Vol.12

○ 特集

- 製品・技術ニュース1：スマホとつながる耳かけ型 EVOKE BTE13D 新登場！ …… P1
- 製品・技術ニュース2：サウンドセンス ラーンを使ってみましょう …… P2
- すぐ使える集客・販促のヒント：新プログラム「WidexReward」（ワイデックスリワード）のご提案 …… P3
- 補聴器フィッティングのコツ：補聴器の特性測定モードについて …… P4
- フィッティングの現場から：Bluetooth搭載の補聴器、飛行機に乗っても大丈夫？ …… P5
- ワイデックスからのお知らせ：iOS 13をお使いになる際の注意点 …… P6

製品・技術ニュース1

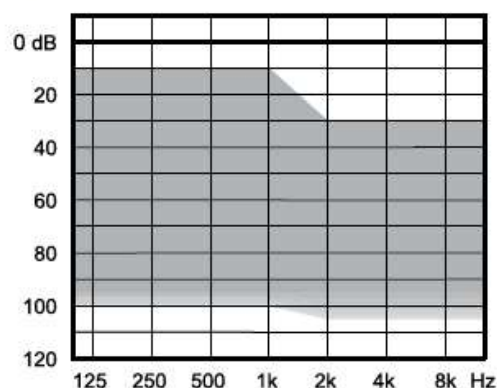
スマホとつながる耳かけ型補聴器 EVOKE BTE13D 新登場！

スマホとつながる新型 EVOKE BTE13D[イヴォークビーティーイー ジュウサンディー]が発売です！

EVOKE BTE13D の主な特長は以下のとおりです。

- EVOKE F2に続く、待望のスマホ対応BTE補聴器！
- 使用する電池は、器種名の通りPR48(13) 補聴器用空気電池
- 別売のTV PLAYも対応
- 軽度～高度・重度まで対応する幅広いフィッティングレンジ
- 押しやすくなったプログラムボタン・ボリュームコントロール
- さまざまな環境で安心して使える、防塵防水最高レベル「IP68」

推奨されるフィッティングレンジ



サウンドセンス ラーンを使ってみましょう

新製品 BTE 13Dにも搭載されている「サウンドセンス ラーン」のメリットをおさらいしてみましょう。

お客様がお困りになっている環境を、店舗スタッフに適切な言葉で正確に伝えることはなかなか難しいものです。お客様が“困っている時”に“その場所”で自分で音質を変えられるのは大きなメリットといえるのではないのでしょうか？ また、お店としても、特定の場所に対する調整の手間も省けるというメリットがあります。

サウンドセンス ラーンがないとき



サウンドセンス ラーンがあるとき

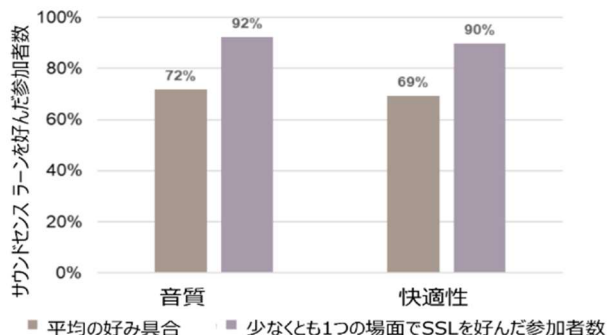


サウンドセンス ラーン調査結果

ワイデックス デンマーク本社で19名、外部機関から20名に参加いただき、サウンドセンス ラーンの有無で聞き比べのテストをおこないました。サウンドセンス ラーンをご利用いただく目的は多々ありますが、今回は快適性（静かさ）にスポットを当てて調査しています。

右のグラフはサウンドセンス ラーン参加者の評価ですが、音質も快適性も9割以上の方に好まれています。

この調査結果を Widex.proに掲載しています。ご興味のある方は是非ご覧ください。



でも、サウンドセンス ラーンの調整値って、パソコンでは見られないんでしょ？

COMPASS GPS V3.4から調整値が見られるようになりました。*
是非ご活用ください。



※ご利用になるにはインターネット接続環境及びワイデックスのクラウドサービスへの登録が必要です。詳しくは、弊社担当営業までお問い合わせください。

新プログラム「WidexReward」（ワイデックスリワード）のご提案

ワイデックスの最上位器種をお求めいただいたお客様にさらなる満足と安心をご提供するため、2019年10月より新しいプログラム「WidexReward」（ワイデックスリワード）を開始しました。

対象器種

EVOKE440全モデル

最上位器種を対象とします。今後、新器種が最上位となる場合は対象器種も入れ替わります。

特典1

最上位器種にふさわしいプレミアムな追加サービス

あらゆる原因による故障※が4年保証（無償修理）の対象となります。

通常の保証では対象外となる次の場合も、4年保証の対象となります。

- 取扱説明書、カタログ等の使用説明によらない使用状態での故障、および不注意による落下、水没、破損等
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷

※ケース類、フック、電池などの消耗品、イヤチップなどの付属品、充電器などの関連商品は含まれません。

また、主要部品がすべて失われているなど、ワイデックスが修理不可能と判断した場合は修理対応いたしかねます。

特典2

耳かけ型の対象器種は、カラーケース無償交換を4年保証の期間中に1回まで対応！

初回ご購入時と同じ色・違う色のどちらも選択できます。



他にも

限定ポーチプレゼント

ワイデックス リワード対象商品をご購入いただいた方限定で、ワイデックスのオリジナルポーチ（いずれか1色）を進呈



「ワイデックス リワードカード」を発行

「ワイデックス リワード」のサービスを受けられる際は「ワイデックス リワードカード」が必要となります



詳しくは・・・ <https://japan.widex.com/ja-jp/about-widex/reward> をご覧ください。

補聴器の特性測定モードについて



販売店スタッフ

補聴器の特性を測定したいけど、モードがいろいろあってわからない

大きく分けて、補聴器の品質確認を目的としたモードとユーザー調整状態での特性を測定するモードがあります。



ワイデックス
トレーニング担当

補聴器に搭載されている機能には、特性を測定する際に影響を及ぼすものがあります。例えば、測定中に騒音制御が働くと、テスト信号をノイズと判断して利得を下げる可能性があり、正確に測定することができなくなります。このようなことを防ぐため、ワイデックスの補聴器には、特性を測定するためのモードがあります。

特性測定モード時は、インターフェースとの通信が一時的に切断され、騒音制御・ハウリング制御は無効、マイクは無指向性、時定数（リリースタイム）は短くなります。

- **品質確認**：90dB入力最大出力、最大音響利得、規準の状態の測定

補聴器接続後、「セッションスタート」→「品質確認」

規準の状態（RTG）を選択し、50dB入力で規準周波数レスポンスの測定、90dB入力で90dB最大出力周波数レスポンスの測定ができます。最大利得（FOG）を選択すると最大音響利得の測定がおこなえます。補聴器から非常に大きな音がしますので、必ず耳から離してからテストを開始してください。

- **検証測定**：ユーザー調整状態の特性測定

補聴器接続後、「ファインチューニング」→「検証測定」

アダプティブテストモード：ISTSのような変調された信号で測定する場合に使用します。このモードのみ選択されたプログラムのゲイン設定、機能設定の状態で、マイクモードのみ無指向性になります。

非アダプティブテストモード：純音やスピーチノイズのように変調されていない信号で測定する場合に使用します。一般的な純音スイープで測定する場合は、こちらを選択します。

品質確認画面



検証測定画面



Bluetooth搭載の補聴器、飛行機に乗っても大丈夫？



お客様が飛行機で旅行に出かけられるそうなのですが、一部の補聴器でBluetooth通信をしているものもありますよね。飛行機内で使っても大丈夫ですか？

航空会社や搭乗する航空機の種類によって変わります。搭乗前にお使いになる航空会社のホームページなどでご確認くださいか、航空会社へお問い合わせください。



2014年9月から、**航空機外の通信設備に無線通信をしない状態**にした上で、**一部の飛行機**※で機内の電子機器同士で無線通信を行う電子機器（ワイヤレスマウス/イヤホン、電子ゲーム機等）がご使用になれるように制度が緩和されています。補聴器のBluetooth機能も機内の電子機器同士での無線通信になりますので、このケースに該当します。

※搭乗する飛行機が電波に対する十分な耐性を有している場合です。

国内大手航空会社のホームページに機内で電子機器間のBluetooth通信が可能な機種と対応していない機種種のリストがありました。（2019年11月5日現在）

JAL（日本航空）：ボーイング 787、777、767、737-800 エアバスA350

ANA（全日空）：ボーイング 787、777-200/-300、767-300(Wi-Fi装着機)、737-700/-800
エアバス A321、A320 ボンバルディア DHC8-Q400

上記が機内での無線通信が可能で、それ以外は機内の無線通信は使用不可になっていました。また、上記以外の航空会社でも異なってきます。

ご旅行前にBluetoothが使用可能かご利用になる航空会社のホームページをご確認いただくか、航空会社へお問い合わせください。

EVOKEをお使いでご心配な方は、搭乗して飛行機のドアが閉まった時から着陸後の滑走が終了する時までEVOKEアプリで補聴器のBluetoothをオフしておく方法もあります。



最新の情報については 航空会社のWebサイトでご確認ください。

JAL（日本航空） 電子機器類のご使用について
<https://www.jal.co.jp/dom/baggage/electronics/>

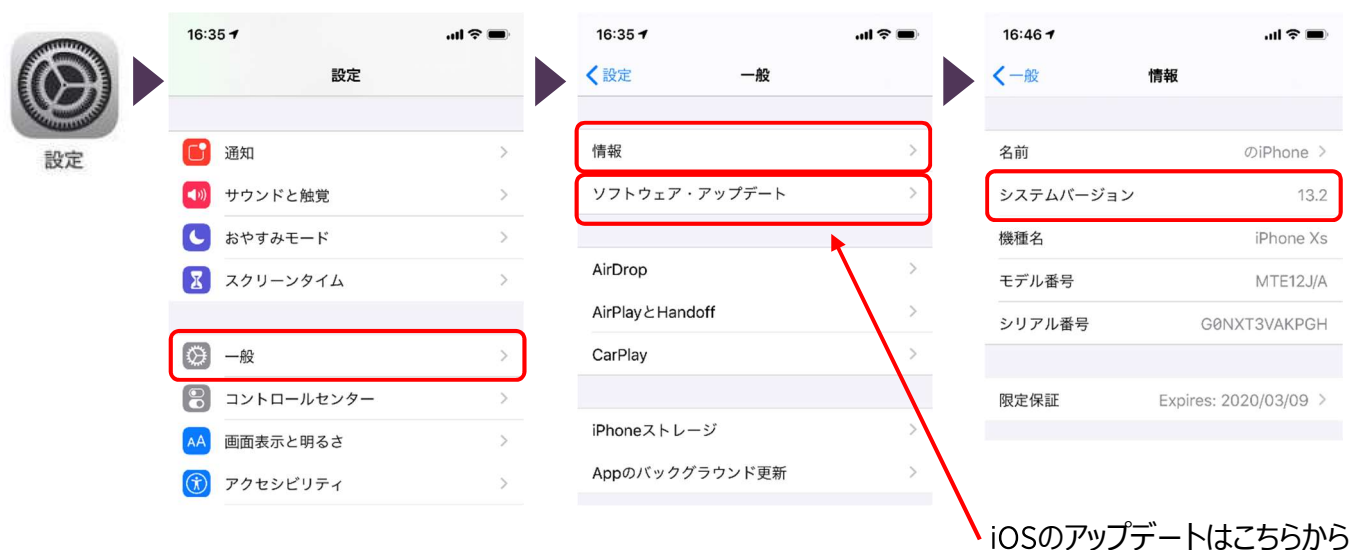
ANA（全日空） 電子機器の使用制限【国際線】
<https://www.ana.co.jp/ja/jp/international/prepare/baggage/caution-electronic/inflight-restriction.html>

iOS 13をお使いになる際の注意点

iPhone用の新しいOS「iOS 13」が9月にリリースされましたが、リリース直後から不具合が多数見つかっており、複数回アップデートがおこなわれています。その不具合の一つに補聴器とのBluetooth接続性があります。この不具合について、Apple社より10月16日にリリースされた iOS 13.1.3 に対応した旨のアナウンスがあり、配信も始まっています。iOS 13をお使いのお客様には念の為、最新版のiOSになっているかお確かめいただき、最新版でなければ、アップデートを促していただくことをお勧めします。

確認方法

「設定」>「一般」の順に選択し、「情報」をタップします。



iOS 13でのペアリング時の変更点

iOS 13では、補聴器とペアリングするための「アクセシビリティ」メニューが「一般」と同じ階層へ移動になり、「MFヒアリングデバイス」から「ヒアリングデバイス」に名称が変更になりました。

iOS 12の場合：「設定」→「一般」→「アクセシビリティ」→「MFヒアリングデバイス」の順にタップ

iOS 13の場合：「設定」→「アクセシビリティ」→「ヒアリングデバイス」の順にタップ

また、弊社販売店様サイト「Widex.pro」に「iOS 13でEVOKE・BEYONDアプリをお使いになる際の注意点」をアップしました。合わせてご覧ください。

「HYGGE-ヒュッゲ-」とは？

タイトルの「HYGGE-ヒュッゲ-」は、デンマーク語で「居心地のよさ」や「快適」を意味する言葉です。HYGGE-ヒュッゲ- 通信を通して、販売店の皆様と素晴らしい関係を構築していきたいとの願いを込めて、タイトルにしました。

HYGGE-ヒュッゲ- 通信
に関するお問い合わせは・・・
フリーコール：00777-81810